白山の火山活動解説資料（令和８年 10 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図１）

白峰監視カメラ（白山山頂の西約 12km）による観測では、山頂部に噴気は認められません。

・地震や微動の発生状況（図３、図４）

白山付近の地震活動は低調に経過し、火山性微動は観測されていません。

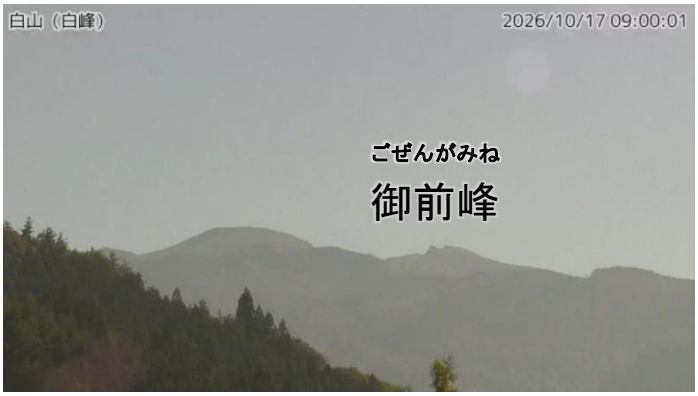


図１　白山　山頂部の状況
（10 月 17 日　白峰監視カメラによる）

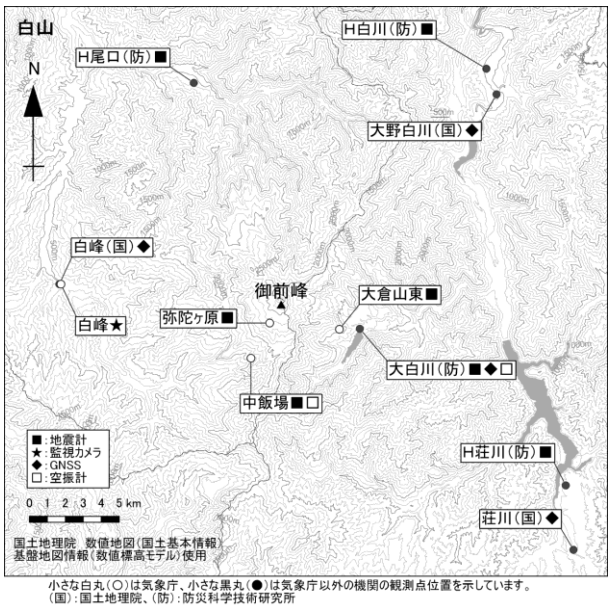


図２　白山　観測点配置図

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。
https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php
次回の火山活動解説資料（令和８年 11 月分）は令和８年 12 月８日に発表する予定です。
本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/kazan/kazanyougo/mokuji.html

この資料は気象庁のほか、東京大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータを利用して作成しています。
資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『基盤地図情報』『数値地図 50ｍメッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

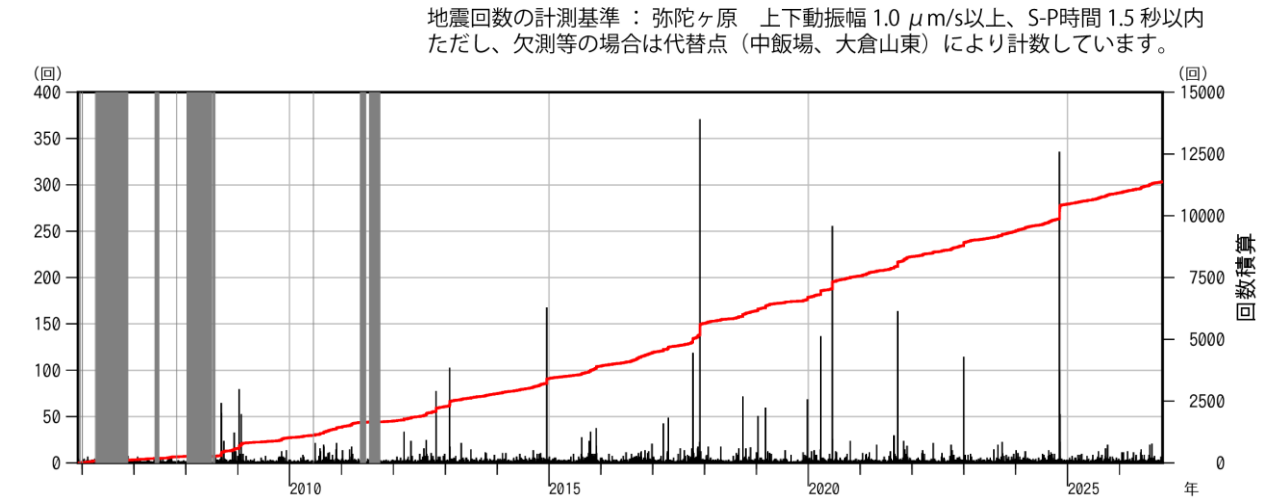


図３　白山　日別地震回数と積算回数（2005 年 12 月１日～2026 年 10 月 31 日）
図の灰色部分は機器障害による欠測期間。赤線は積算回数を示します。

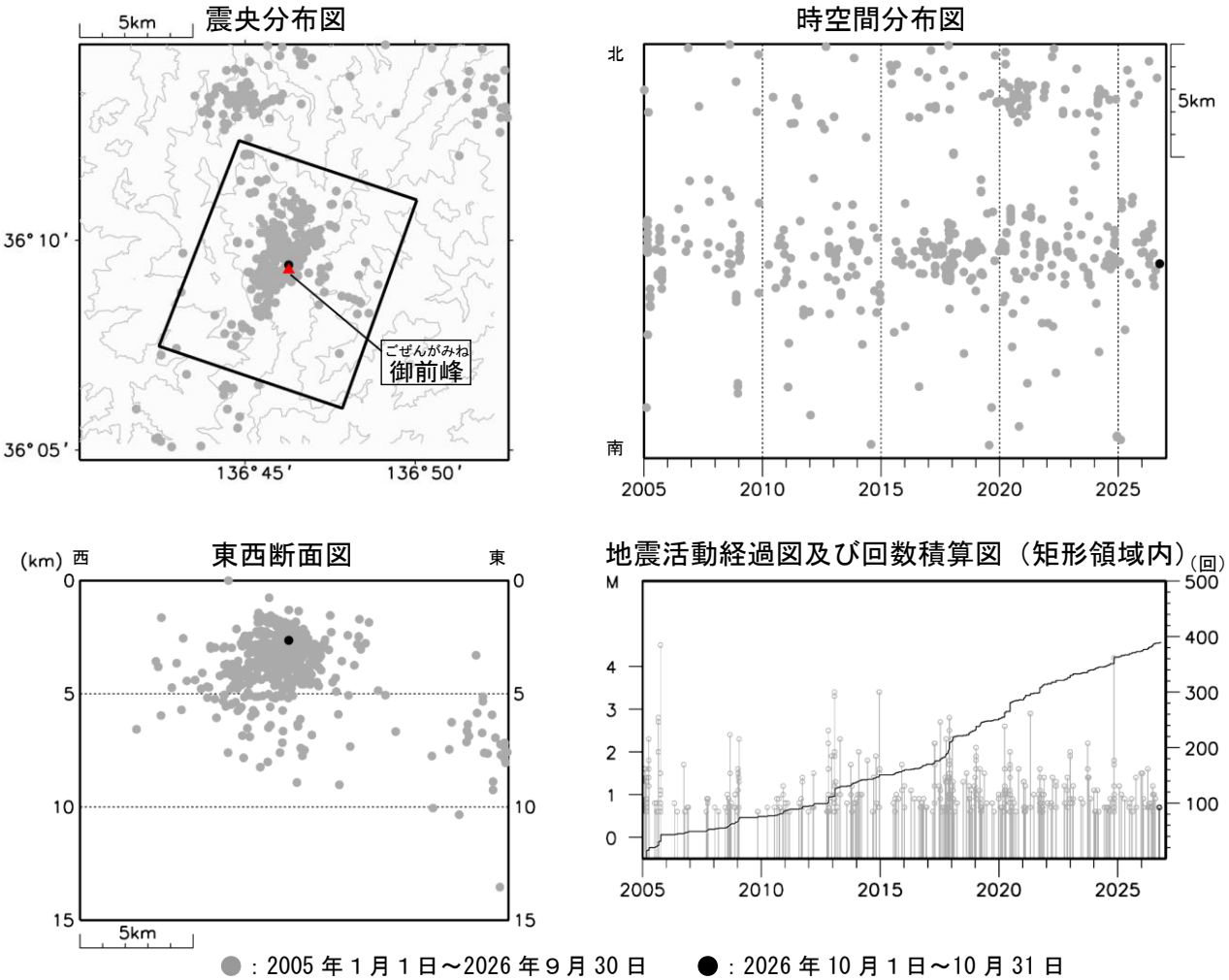


図４　白山　広域地震観測網による山体･周辺の地震活動（2005 年１月１日～2026 年 10 月 31 日）
広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。なお、2020 年９月以降については、地震観測点の標高を考慮する等、震源決定の手法を変更しています。
M（マグニチュード）は地震の規模を表します。M0.6 以上の地震を表示しています。
図中の震源要素は一部暫定値を含んでおり、後日変更することがあります。

・今期間、白山付近の地震活動は低調に経過しました。